中級統計学:第3回中間試験

村澤 康友

2021年7月2日

注意:3問とも解答すること. 結果より思考過程を重視するので,途中計算等も必ず書くこと(部分点は大いに与えるが,結果のみの解答は0点とする). 教科書のみ参照してよい(他の講義資料・ノートは持込不可).

- 1. (20点) 以下の用語の定義を式または言葉で書きなさい(各 20 字程度).
 - (a) 標本の大きさ
 - (b) (母数の) 尤度
 - (c) 信頼区間
 - (d) 母比率
- 2. (30点) 分布表を用いて以下の問いに答えなさい.
 - (a) $X \sim \chi^2(20)$ とする. $\Pr[a \le X \le b] = .95$ となる a, b を求めなさい.
 - (b) $Y \sim t(21)$ とする. $\Pr[|Y| \le c] = .98$ となる c を求めなさい.
 - (c) $Z \sim \mathrm{F}(7,2)$ とする. $\Pr[d \leq Z \leq e] = .99$ となる d,e を求めなさい. なお $a \sim e$ はすべて正の実数 $(0,\infty$ は含まない) とする.
- 3. (50 点) ある母集団で新型コロナワクチンの接種を拒否する人の割合 p を区間推定したい. 拒否を 1, その他を 0 で表し,無作為に選んだ n 人の回答を (X_1,\ldots,X_n) とする. また標本比率(=標本平均)を \hat{p} とする.
 - (a) $E(X_i)$ と $var(X_i)$ を求めなさい.
 - (b) $E(\hat{p})$ と $var(\hat{p})$ を求めなさい.
 - (c) \hat{p} の漸近分布を求めなさい.
 - (d) p の 95% 信頼区間を近似的に求めなさい.
 - (e) n=10000, $\hat{p}=.1$ として p の 95% 信頼区間を近似的に計算しなさい.

解答例

- 1. 統計学の基本用語
 - (a) 標本に含まれる個体の数.
 - ●「大きさ」の定義が必要.
 - \bullet 「標本 (X_1, \ldots, X_n) における n」は n の説明がないのでダメ.
 - 1 つの標本の大きさの定義なので「標本の数」は間違い.
 - (b) その母数の下で標本の実現値を観測する確率 (密度).
 - •「尤もらしさ」は定義でないのでダメ. その定義が必要.
 - (c) ある確率で母数を含む確率的な区間.
 - ●「ある確率で母数を含む区間」は母数と区間のどちらが確率的か不明確.「確率的な区間」と明示しなければダメ. ※ベイズ統計学では母数を確率的とする.
 - ●「1次元の信頼域」は可とする.
 - (d) ベルヌーイ母集団における成功 (= 1) の比率.
 - ●「母集団の比率」は意味が不明なのでダメ、
- 2. 分布表の読み方

(a)

$$Pr[a \le X \le b] = Pr[X \ge a] - Pr[X > b]$$

= .95

これを満たす例は

$$Pr[X \ge a] = .975$$

 $Pr[X > b] = .025$

 χ^2 分布表より $X \sim \chi^2(20)$ なら a = 9.59078, b = 34.1696.

- 各5点.
- (b) t 分布の対称性より

$$\begin{aligned} \Pr[|Y| \leq c] &= \Pr[-c \leq Y \leq c] \\ &= 1 - 2\Pr[Y > c] \\ &= .98 \end{aligned}$$

すなわち

$$\Pr[Y > c] = .01$$

t 分布表より $Y \sim t(21)$ なら c = 2.518.

(c)

$$\Pr[d \le Z \le e] = 1 - \Pr[Z < d] - \Pr[Z > e]$$

= .99

これを満たす例は

$$\begin{aligned} \Pr[Z < d] &= \Pr\left[\frac{1}{Z} > \frac{1}{d}\right] \\ &= .005 \\ \Pr[Z > e] &= .005 \end{aligned}$$

 $Z \sim \mathrm{F}(7,2)$ なら $1/Z \sim \mathrm{F}(2,7)$ なので F 分布表より 1/d=12.404, すなわち d=1/12.404. 同じく F 分布表より $Z \sim \mathrm{F}(7,2)$ なら e=199.357.

- 各 5 点.
- 3. 母比率の信頼区間

(a)

$$E(X_i) := 1 \cdot p + 0 \cdot (1 - p)$$

$$= p$$

$$var(X_i) = E(X_i^2) - E(X_i)^2$$

$$= E(X_i) - E(X_i)^2$$

$$= p - p^2$$

$$= p(1 - p)$$

- μ, σ^2 で表すのはダメ. 以下同様.
- (b) 期待値の線形性より

$$E(\hat{p}) = E\left(\frac{X_1 + \dots + X_n}{n}\right)$$

$$= \frac{E(X_1) + \dots + E(X_n)}{n}$$

$$= \frac{np}{n}$$

$$= p$$

 X_1, \ldots, X_n は独立なので

$$\operatorname{var}(\hat{p}) = \operatorname{var}\left(\frac{X_1 + \dots + X_n}{n}\right)$$

$$= \frac{\operatorname{var}(X_1) + \dots + \operatorname{var}(X_n)}{n^2}$$

$$= \frac{np(1-p)}{n^2}$$

$$= \frac{p(1-p)}{n}$$

(c) X_1, \ldots, X_n は iid なので、中心極限定理より

$$\hat{p} \stackrel{a}{\sim} N\left(p, \frac{p(1-p)}{n}\right)$$

(d) 標準化すると

$$\frac{\hat{p} - p}{\sqrt{p(1-p)/n}} \stackrel{a}{\sim} N(0,1)$$

または

$$\frac{\hat{p} - p}{\sqrt{\hat{p}(1-\hat{p})/n}} \stackrel{a}{\sim} N(0,1)$$

標準正規分布表より

$$\Pr\left[-1.96 \le \frac{\hat{p} - p}{\sqrt{\hat{p}(1 - \hat{p})/n}} \le 1.96\right] \approx .95$$

ここで

$$-1.96 \le \frac{\hat{p} - p}{\sqrt{\hat{p}(1 - \hat{p})/n}} \le 1.96 \Longleftrightarrow -1.96\sqrt{\frac{\hat{p}(1 - \hat{p})}{n}} \le \hat{p} - p \le 1.96\sqrt{\frac{\hat{p}(1 - \hat{p})}{n}}$$
$$\iff \hat{p} - 1.96\sqrt{\frac{\hat{p}(1 - \hat{p})}{n}} \le p \le \hat{p} + 1.96\sqrt{\frac{\hat{p}(1 - \hat{p})}{n}}$$

したがってpの95%信頼区間は近似的に

$$\left[\hat{p} - 1.96\sqrt{\frac{\hat{p}(1-\hat{p})}{n}}, \hat{p} + 1.96\sqrt{\frac{\hat{p}(1-\hat{p})}{n}}\right]$$

(e) n = 10000, $\hat{p} = .1$ を代入すると

$$\sqrt{\frac{\hat{p}(1-\hat{p})}{n}} = \sqrt{\frac{.1(1-.1)}{10000}}$$
$$= \frac{.3}{100}$$
$$= \frac{3}{1000}$$

したがって 95% 信頼区間は

$$\left[.1 - \frac{1.96 \cdot 3}{1000}, .1 + \frac{1.96 \cdot 3}{1000}\right] \approx [.09422, .10588]$$

• $\hat{p}=.1$ を代入した後で $\Pr[.09422 \le p \le .10588] \approx .95$ と書くのは重大な誤り.